令和7年度 1学年授業改善プラン

大田区立矢口小学校

1. 1学期の学習成果(○)と課題(◆)

- ○主体的な学習態度が身に付いてきている。
- ○課題や問題に落ち着いて考え、集中して取り組む時間が伸びた。学習に対して前向きに努力している。
- ○継続的に家庭学習を行うことができた。
- ◆学力や学習習慣に個人差がみられる。

2. 各教科の授業改善プラン

【国語】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識•技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度
◆ひらがななどの文字や助詞、拗	◆文字を意味のまとまりや言	○見通しをもたせるために学習
音、長音、濁音、促音の表記に	葉として捉えることが苦手	の流れを児童と共に確認し、
個人差が大きい。	と感じる児童が一定数いる。	学期末には振り返りを行う。
○反復練習をしたり、個別に指導	○情景が頭に浮かぶよう短く	○主体性を高めるため、児童が
したりする。	区切ったり、劇化したりする	興味のある課題を提示したり
	などの指導を工夫する。	活動を工夫したりする。

【算数】

1712/1		
観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識•技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度
◆加法及び減法の意味を理解し、	◆文章題を正しく読み取るこ	◆すすんで計算したり日常の経
使い分けることが苦手と感じ	とが難しく、立式に課題があ	験からお話をつくろうと取り
る児童が一定数いる。	る。	組んだりする力が弱い。
○具体物を用いたり、繰り返し基	○場面の絵や図を用いたり、具	○計算のよさや楽しさを感じや
礎的・基本的な計算問題に取り	体物を使って操作したりす	すくするために、日常生活の
組ませたりして、定着できるよ	ることで、式や計算などの仕	体験と結び付けて取り組ませ
うにする。	方を考える力を養う。	る。

【生活】

毎よりはは、「はなった」とは、「はなった」とは、これを表しています。		
知識•技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度
◆生活体験から得られた知識が	◆「できない。」と直ぐにあきら	◆進んで活動する児童がいる反
豊富な児童と体験不足な児童	めてしまったり、友達の真似	面、消極的な態度になる児童
との差が大きい。	をして活動したりなど、自分	がいる。
○自然の中での体験を増やす。	から工夫していく力が弱い児	○学習計画を示すことで見通し
また、多くの人に支えられて	童がいる。	をもたせ、単元ごとの活動の
いることに気付く場面を意図	○様々な活動パターンを提示し	振り返りを大切にする。児童

的に設定する。	ながら、工夫して遊ぶこと等	が興味をもてる課題や活動の
	ができる場面を設定する。	工夫をし、主体性を高める。

【音楽】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識•技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度
◆曲想や拍などを感じながら、歌	◆リズムや拍、曲想を感じ取る	◆興味をもって友達と主体的・
うことや演奏することに個人	ことや曲想に合わせて表現	協働的に音楽に親しむことが
差がある。	方法を考えることに課題が	苦手と感じる児童が一定数い
○曲想や拍を感じて表現できる	ある。	る。
音遊びや打楽器(タンブリン・	○歌や演奏から、リズムや旋律	○身近な音に親しんだり、歌唱
カスタネットなど)を使って活	などを聞き取り、曲全体のよ	や器楽、音楽づくりから楽し
動する。	さや面白さを味わって、表現	んだりしながら協働的に取り
	する活動を充実させていく。	組む活動を設定する。

【図画工作】

【凶쁴工TF】		
観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識•技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度
◆はさみやのりを扱う能力には	◆自ら想像力を働かせて作品	○主体的に学習に取り組み続け
個人差がある。	に表す能力に個人差がある。	られるように、単元の導入で
○正しい使い方について、改めて	○児童一人一人の表現方法を	の題材の提示の仕方を工夫す
指導するとともに、授業以外で	認め、褒め合えるように鑑賞	る。また、色々な材料を使って
もはさみやのりを扱う機会を	の機会を多く設定していく。	様々な方法を試せるように
意図的に設定していく。	また、材料と触れ合う時間を	し、児童の主体性を高めてい
	十分に確保し、色や形、イメ	<.
	ージなど、表現のポイントを	
	明示する。	

【体育】

【作月】		
観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識•技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度
◆児童の生活経験や生活習慣の	○自らの力に応じて運動を工	○児童が楽しみながら運動に取
違いから、児童間の運動能力に	夫したり、自分に合った楽し	り組めるようにルールや練習
差が見られる。(特に体力テス	み方を選択できるように、運	方法を工夫したり、運動量を
トのソフトボール投げ・上体起	動する場の工夫をしたり、友	十分に確保したりする。
こし)	達と互いの運動について見	
○様々な基本の運動を多く体験	合ったりする時間を設定す	
させ、幅広い運動経験を積み重	る。	
ねられるようにする。また、動		
きのポイントを具体的に指導		

していく。	